学校番号	325

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	高校美術３　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

新しい表現を試みる制作を行う。これまで学んだ制作や技法を高める。ひとつの作品として仕上げるため制作の計画、研究を行う。合評など互いに批評しあう機会を持つ。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力をのばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心を持ち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、主題にあった表現方法を工夫し、個性を活かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて，そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	出席状況 授業態度 作品への取り組み ワークシート	授業態度 課題作品 観察等 ワークシート	授業態度 作品への取り組み 課題作品 観察等	授業態度 レポート 観察等 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリエンテーション　マチエール研究	美術の授業についての確認。 さまざまな下地作りを体験する。 偶然できた形や色から自分の心の中にあるイメージを引き出し表現する。	○ ○	○ ○	○	○ ○	a: 作品制作の姿勢ができている。 b: 偶然できた下地の変化からイメージ表現を行うことができたか。 c: 用具の特性を活かし、表現方法を工夫している。 d: 描画材の特性を理解し、素材の活かし方について構想を練っている。	授業態度 課題作品
	高校PRビデオ	グループでアイデアを練り、絵コンテを作成。 班でビデオ撮影。 コンピュータで編集 プレゼンテーション 鑑賞会	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	a:映像メディアの特性を生かして表現することに関心をもち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:映像メディアの特性を踏まえ、目的を基に主題を生成し、視点や動きなど視覚的要素を工夫して表現の構想を練っている。 c:カメラやコンピューター、などの様々な用具の特性を理解し、効果的な表現方法や編集を工夫して表現している。 d:映像メディア表現の特質を生かした独自の表現効果などを感じ取り、作品の主題や作者の表現意図、効果的な表現の工夫などを読み取り、作品や作者について理解している。	授業態度 課題作品

2学期	自由製作 油絵	計画表、ラフスケッチを描く 30号のパネルに木炭で下書き。 下塗り、粗描き 中間合評 仕上げ 合評会	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	a:自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:油絵の具の材料や、用具の特性を理解し、構成、色彩などを工夫している。 d: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	授業態度 課題作品
3学期	銅版画	版画の特性と種類を学ぶ 計画表、ラフスケッチを描く 銅版に下書きを転写しニードルで線描する。 腐食、線描を繰り返し深みを出す。 インクを刷り込み印刷する。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○	a: 版画の技法と手順を理解し計画性を立て、主体的に取り組んでいる。 b: テーマを基に感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:銅版画の特性や用具の技法を理解し、表現方法を工夫している。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	授業態度 課題作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。